

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<全学共通基盤科目>	●	協創力体験演習Ⅰ	◎	◎	
<全学共通基盤科目>	●	協創力体験演習Ⅱ	◎	◎	
<全学共通基盤科目>	●	協創力実践演習	◎	◎	
<基本科目>	●	フレッシュマンセミナー演習	◎		○
<基本科目>	●	コミュニケーションのための基礎英語A	△	○	
<基本科目>	●	コミュニケーションのための基礎英語B	△	○	
<専門科目> 必修	●	栄養情報科学演習			◎
<専門科目> 必修	●	医療栄養学概論演習	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	生物学			◎
<専門科目> 必修	●	細胞生理化学			◎
<専門科目> 必修	●	生化学実験			◎
<専門科目> 必修	●	生物有機化学			◎
<専門科目> 必修	●	医療栄養学概論	△		◎
<専門科目> 必修	●	食品化学			◎
<専門科目> 必修	●	基礎栄養学			◎
<専門科目> 必修	●	ライフステージ栄養学			◎
<専門科目> 必修	●	応用栄養学			◎
<専門科目> 必修	●	調理加工学			◎
<専門科目> 必修	●	食品機能学			◎
<専門科目> 必修	●	調理科学実験			◎
<専門科目> 必修	●	栄養教育論実習			◎
<専門科目> 必修	●	給食経営管理実習			◎
<専門科目> 必修	●	栄養学実験			◎

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<専門科目> 必修	●	給食経営管理論			◎
<専門科目> 必修	●	基礎分析化学実験	△		◎
<専門科目> 必修	●	食品化学実験			◎
<専門科目> 必修	●	食品機能学実験			◎
<専門科目> 必修	●	栄養生理学実験			◎
<専門科目> 必修	●	給食経営管理演習			◎
<専門科目> 必修	●	メニュープランニング演習			◎
<専門科目> 必修	●	特殊環境栄養学			◎
<専門科目> 必修	●	微生物学			◎
<専門科目> 必修	●	食品衛生学			◎
<専門科目> 必修	●	食品衛生学実験			◎
<専門科目> 必修	●	公衆衛生学			◎
<専門科目> 必修	●	公衆栄養学実習			◎
<専門科目> 必修	●	カウンセリング演習		○	◎
<専門科目> 必修	●	看護学演習		○	◎
<専門科目> 必修	●	医療制度概論			◎
<専門科目> 必修	●	病態解析学演習			◎
<専門科目> 必修	●	薬理学			◎
<専門科目> 必修	●	卒業研究	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	栄養療法学			◎

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<専門科目> 必修	●	薬物食品作用学			◎
<専門科目> 必修	●	解剖生理学 A			◎
<専門科目> 必修	●	調理学実習 A			◎
<専門科目> 必修	●	栄養教育論 A	△		◎
<専門科目> 必修	●	生化学 A			◎
<専門科目> 必修	●	解剖生理学 B			◎
<専門科目> 必修	●	生化学 B			◎
<専門科目> 必修	●	食品材料学 A			◎
<専門科目> 必修	●	公衆栄養学 A			◎
<専門科目> 必修	●	栄養教育論 B			◎
<専門科目> 必修	●	薬物療法学 A			◎
<専門科目> 必修	●	病態解析学 A			◎
<専門科目> 必修	●	薬物療法学 B			◎
<専門科目> 必修	●	食品材料学 B			◎
<専門科目> 必修	●	臨床栄養学 A			◎
<専門科目> 必修	●	総合演習 A	△		◎
<専門科目> 必修	●	解剖生理学実験 A			◎
<専門科目> 必修	●	調理学実習 B			◎
<専門科目> 必修	●	病態解析学 B			◎
<専門科目> 必修	●	臨床栄養学演習 A	△		◎
<専門科目> 必修	●	臨床栄養学 B			◎

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
			◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
<専門科目> 必修	●	解剖生理学実験 B			◎
<専門科目> 必修	●	臨床栄養学実習 A			◎
<専門科目> 必修	●	臨床栄養学実習 B			◎
<専門科目> 必修	●	公衆栄養学 B			◎
<専門科目> 必修	●	臨床栄養学演習 B	△		◎
<専門科目> 必修	●	臨地実習 A	○	△	◎
<専門科目> 必修	●	臨地実習 B	○	△	◎
<専門科目> 必修	●	総合演習 B			◎
<専門科目> 選択		毒性学			○
<専門科目> 選択		ハーブ論			◎
<専門科目> 選択		機能性食品論			○
<専門科目> 選択		医療心理学		○	○
<専門科目> 選択		介護学演習		○	○
<専門科目> 選択		診断放射化学			○
<専門科目> 選択		医薬品情報学			○
<専門科目> 選択		運動生理学演習			○
<専門科目> 選択		福祉論	△		○
<専門科目> 選択		分子生物学			○
<専門科目> 選択		分子栄養学			◎
<専門科目> 選択		栄養免疫学			◎
<専門科目> 選択		内分泌学			○
<専門科目> 選択		スポーツ栄養学演習			○

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<専門科目> 選択		薬局実習	○	○	○
<専門科目> 選択		緩和医療学	◎	○	◎
<専門科目> 選択		薬物療法学 C			○
<専門科目> 選択		栄養教諭概論 A	△		○
<専門科目> 選択		栄養教諭概論 B	△		○
<専門科目> 選択		臨地実習 C	○	○	○
<関連科目>		自校史研究 (建学の精神と大学の理念)	△		
<関連科目>		ドイツ語 I A	△	△	
<関連科目>		ドイツ語 I B	△	△	
<関連科目>		ドイツ語 II A	△	△	
<関連科目>		ドイツ語 II B	△	△	
<関連科目>		フランス語 I A	△	△	
<関連科目>		フランス語 I B	△	△	
<関連科目>		フランス語 II A	△	△	
<関連科目>		フランス語 II B	△	△	
<関連科目>		中国語 I A	△	△	
<関連科目>		中国語 I B	△	△	
<関連科目>		中国語 II A	△	△	
<関連科目>		中国語 II B	△	△	
<関連科目>		韓国語 I A	△	△	
<関連科目>		韓国語 I B	△	△	
<関連科目>		韓国語 II A	△	△	
<関連科目>		韓国語 II B	△	△	
<関連科目>		思想と人間	△		
<関連科目>		倫理とは何か	△		
<関連科目>		地域と風土	△		
<関連科目>		現代社会と法 I (日本国憲法)	△		
<関連科目>		現代社会と法 II (国際法を含む)	△		
<関連科目>		社会学 A	△		
<関連科目>		文化研究 I	△		
<関連科目>		文化研究 II	△		

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
			◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
<関連科目>		人と文化	△		
<関連科目>		国際グローバル研修	△	△	
<関連科目>		世界の中の日本A	△		
<関連科目>		世界の中の日本B	△		
<関連科目>		地域と大学	△		
<関連科目>		グローバル社会と女性	△		
<関連科目>		女性とダイバーシティ (女性の働き方)	△		
<関連科目>		女性とキャリアデザイン (女性と企業)	△		
<関連科目>		近世の日本史Ⅰ	△		
<関連科目>		日本の文学Ⅰ	△		
<関連科目>		心理学Ⅰ	△		
<関連科目>		資格英語ⅠA	△	○	
<関連科目>		資格英語ⅠB	△	○	
<関連科目>		English CommunicationⅠA	△	○	
<関連科目>		English CommunicationⅠB	△	○	
<関連科目>		Oral EnglishⅠA	△	○	
<関連科目>		Oral EnglishⅠB	△	○	
<関連科目>		データサイエンス入門	△	△	△
<関連科目>		データサイエンスと数理統計	△		△
<関連科目>		機械学習とAI	△		△
<関連科目>		データサイエンス特別講義Ⅰ	△		△
<関連科目>		データサイエンス特別講義Ⅱ	△		△

2025年度 カリキュラム・マップ【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
			◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
<関連科目>		応用A I プログラミング	△		△
<関連科目>		社会科学におけるデータサイエンス	△		△
<関連科目>		ゲーム理論とA I	△		△
<関連科目>		定量的政策評価	△		△
<関連科目>		金融データ分析	△		△
<関連科目>		海外研修 I	△	△	
<関連科目>		海外研修 II	△	△	
<関連科目>		海外研修 III	△	△	
<関連科目>		海外研修 IV	△	△	
<関連科目>		ハンガリー語 A	△	△	
<関連科目>		ハンガリー語 B	△	△	
<関連科目>		ポーランド語 A	△	△	
<関連科目>		ポーランド語 B	△	△	
<関連科目>		スペイン語 A	△	△	
<関連科目>		スペイン語 B	△	△	
<関連科目>		マレー語 A	△	△	
<関連科目>		マレー語 B	△	△	
<関連科目>		留学英語A	△	○	
<関連科目>		留学英語B	△	○	
<関連科目>		健康スポーツ I A	△		
<関連科目>		健康スポーツ I B	△		
<関連科目>		健康スポーツ II A	△		

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
			◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
<関連科目>		健康スポーツⅡB	△		
<関連科目>		スタートアップ企業論入門	△		
<関連科目>		生涯スポーツ論	△		
<関連科目>		教養英語A	△	○	
<関連科目>		教養英語B	△	○	
<関連科目>		世界の文学	△	△	
<関連科目>		デザイン思考で取り組む地域課題	△	△	
<関連科目>		数学とは何だろうか	△		
<関連科目>		統計学で見る世界	△		
<関連科目>		コンピュータとプログラミングの世界	△		
<自由科目>		学校と図書館	△		
<自由科目>		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	△		
<自由科目>		教育心理学	△	△	
<自由科目>		教育史	△		
<自由科目>		教育相談(カウンセリングを含む)	△	△	
<自由科目>		教職論	△		
<自由科目>		特別活動論	△		
<自由科目>		教職実践演習(栄養教諭)	△	△	
<自由科目>		栄養教育実習(事前及び事後指導を含む)	△		
<自由科目>		ジェンダー・教育・ダイバーシティ	△		
<自由科目>		特別支援教育	△		
<自由科目>		道徳教育の理論と指導法	△		

2025年度 カリキュラム・マップ 【薬学部医療栄養学科】

ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<自由科目>		教育学概論 A	△		
<自由科目>		教育学概論 B	△		
<自由科目>		医薬品情報・マネジメント概論 A	△		△
<自由科目>		医薬品情報・マネジメント概論 B	△		△
<自由科目>		教育方法及びICT指導法	△		△
<自由科目>		教育課程論（総合的な学習・探究の時間の指導法を含む）	△		